

# 光栄の森

平成 26 年 3 月 毎月 1 日発行 第 69 号

発行者 光栄プロテック 吉竹

## 3 月を迎えるにあたって

代表取締役 三田雅憲

早いもので、今期もいよいよ最後の月となりました。

若い社員も春夏秋冬を経験し、少し光栄を理解していただけたのではないかと思います。振り返ってみまして、嬉しかったこと辛かったこと、いろいろあったと思います。初心に戻るという言葉がありますが、ぜひ入社された時の事を思い出して、その時の気持ちを持ち続けられるように、頑張りましょう。

私自身にとって今期嬉しかったことは、5 名の新しい仲間入社でした。違う業界で修行されバックグラウンドは様々ですが、ものづくりに興味のある方々が当社に未来を託してくれたことを本当に感謝し、嬉しく思っております。また、個人的に嬉しかったことは、長男の就職が決まりこの 4 月より晴れて社会人になることです。どちらの家庭もそうですが、長男は比較的厳しく育てましたので、反抗的な時期も多少ありましたが、社会に役に立つ人間になってほしく思います。

辛かったことは、やはり当社を去っていく社員がおられたことです。私の未熟さもあったでしょう。社員の未熟さもあったでしょう。それでもここで仕事をやり続ける喜びやプライド・夢を共有できなかったのは非常に辛いことでした。しかし先述したように、新しい社員の出会いもあり、新しいお客様の出会いもあり、結局は泣き笑いの一年だった気がします。

来期は、より一層社員一同が技術を磨き、首都圏地区へ『光栄ありき』を轟かしたく思います。ゴミやホコリが少ない塗装のみならず、特殊な塗装（大理石趙塗装や木目調塗装その他特殊なもの）従来の硫化イブシやイブシ色をはじめとする表面処理もできる社員が増えることでビジネスチャンスもどんどん増えると思います。東京から仕事をより一層増やし、それも付加価値の高いものを中心とできるよう営業力もより一層強固なものにしたいと思います。

一年を通じてリピートの仕事を絶やすことなく、関西地区・中部地区そして首都圏地区とバランスの良い受注ができれば嬉しく思います。クレームやヒューマンエラー等もより一層なくしお客様に今以上に信頼を持っていただける会社となるよう皆で頑張りましょう。そして来年はいよいよ設立 30 周年の節目と年になります。30 年の歴史に恥じぬ会社として社会に認知してもらえよう頑張りましょう。